

第67回 静岡まつり 来場者アンケート調査の結果公表

～ 一般来場者の市内消費額 約28億円、1日あたりでは 年間平均の4倍以上 ～

静岡まつり実行委員会事務局と公益財団法人するが企画観光局(地域連携DMO)は、令和5年3月31日(金)～4月2日(日)に開催された「第67回 静岡まつり」で一般来場者へのアンケート調査を実施した。

調査の結果、静岡市内では通常時と比べて大きな消費が生み出されていることが確認された。その他、開催効果のさらなる拡大に向けた課題も明らかにした。

1. 調査結果の概要

- ✓ 静岡まつり期間中の一般来場者の市内消費額は 約28億円、年間平均の4倍以上※

※来場者数約93万人(主催者発表)、アンケート調査の属性割合と消費額から、するが企画観光局が簡易推計 単位：円

		全体人数 A	割合 B	人数 C=A×B	単価 D	計 E=C×D
日帰り	県内	930,000	87.5%	813,900	2,375	1,933,104,201
	県外		1.8%	16,757	4,607	77,200,772
宿泊(市内宿泊施設の利用なし)	県内		2.6%	23,938	3,408	81,589,447
	県外		3.2%	29,923	4,658	139,373,659
宿泊(市内宿泊施設の利用あり)	県内		0.9%	8,378	3,107	26,032,819
	県外		4.0%	37,104	14,215	527,438,867
総額						約28億円

- ✓ 来場者の居住地別割合は静岡市が75%、静岡市を含む県内客が91%、県外客は9%
- ✓ 来場した静岡市民の7割以上が、これまでの静岡まつりに5回以上参加
- ✓ 静岡市内の主な宿泊施設における4/1(土)の平均客室稼働率は9割超(昨年の静岡まつり等と比較して客室単価及び平均客室稼働率は最も高かった)

2. 開催効果のさらなる拡大に向けた課題(中長期的に解決を目指すべきものを含む)

◎来訪者の満足度向上

- ✓ 混雑の緩和、および高齢者や体力に自信がない方に配慮したイベントづくり
- ✓ ニーズに応じたトイレ、ごみ箱、休憩スペースの配置

◎宿泊施設の収益向上

- ✓ 稼働率の高かった宿泊施設における客室単価の適正化
- ✓ 受け入れ余力のあった宿泊施設における稼働率の向上

◎周辺施設の収益向上

- ✓ 静岡まつり来場者の周辺施設の利用増による消費額向上

◎静岡県中部地域の観光スポット周遊

- ✓ 静岡まつりを目当てにした県外からの来訪者に対する観光スポット周遊のさらなる促進

詳細はウェブ公開の報告書を参照 ⇒「するが企画観光局 調査報告」で検索
 または URL: https://www.visit-shizuoka.com/survey_report/detail.php?ti=50



【静岡まつりに関すること】

静岡まつり実行委員会 事務局
 TEL : 054-221-0182

【アンケート調査、データに関すること】

するが企画観光局 調査戦略室
 TEL : 054-204-6677
 MAIL : info@suruga-mtb.or.jp